

4 平成 29 年度に向けた取組及び目標

① 産地戦略枠と従来枠について

取組 番号	対象作物	取組	分 類 ※	指標	平成 28 年度 (現状値)	平成 29 年度 (目標)
1	・ブロッコリー ・アスパラガス	町の振興作物で ある、ブロッコリー・ アスパラガスの作付	ア	作付面積	18.2ha 3.2ha	20.0ha 3.2ha
2	・戦略作物（麦、大豆、 飼料作物、そば） ・野菜（ブロッコリー、アスパ ラガス、かぼちゃ、スイートコ ーン、パセリ、山ごぼう、 かぶ、インゲン、エンドウ、ス パゲツ、キュウリ、いちご、 トマト、こら、行者ニンニク、さ さげ、大根、コンズン、サ はくさい、ピーマン、ミニマ ト、レタス、にんにく、キャバ グ、馬鈴薯、スノーグロブ） ・花卉【キイチゴ（観賞用・ 切枝）、ストック、デルフィニウム、 ランチュラス、リンドウ、ワレモコウ、 マムシグサ、トルコギキョウ】 ・小豆	助成対象作物の 作付をした担い 手に助成	イ	作付面積	337.4ha	339.8ha
3	飼料作物	耕畜連携の実施	イ	実施面積	31.25ha	31.26ha
4	飼料用米	耕畜連携の実施	ア	実施面積	0ha	0.01ha
5	かぼちゃ	地域振興作物	ア	作付面積	35.5	36.0

※「分類」欄については、実施要綱別紙 16 の 2（5）のア、イ、ウのいずれに該当するか記入してください。（複数該当する場合には、ア、イ、ウのうち主たる取組に該当するものをいずれか 1 つ記入してください。）

ア 農業・農村の所得増加につながる作物生産の取組

イ 生産性向上等、低コスト化に取り組む作物生産の取組

ウ 地域特産品など、ニーズの高い製品の産地化を図るための取組を行いながら付加価値の高い作物を生産する取組

※平成 30 年度以降の目標を設定してる場合は、「平成 29 年度（目標値）」欄の右に欄を設け、目標年度及び目標値を記載してください。

※現状値及び目標値が単収、数量など面積以外の場合、（ ）内に数値を設定する根拠となった面積を記載してください。

4② 技術導入促進交付金

(1) 技術導入促進交付金によって技術導入面積を拡大する革新技術

番号	革新技術名	期待される効果
1	疎植栽培技術	移植までの労働時間を慣行より2割削減

(2) 技術・作物ごとの29年度の技術導入面積及び30年度の技術導入目標面積別表のとおり

(3) 30年度に技術導入面積を拡大するための推進戦略

① 地区別の30年度技術導入目標面積

(単位:ha)

番号	協議会区域一円				計
1	13				13

② 技術指導体制

番号	革新技術名	技術指導体制
1	疎植栽培技術	檜山農業改良普及センター、JA新はこだて厚沢部基幹支店

③ 普及方策

番号1	疎植栽培技術
・導入予定の農業者が意見交換を行い、情報共有を行う。 ・檜山農業改良普及センターにて技術指導を行う。	

番号〇	(革新技術名)

番号〇	(革新技術名)

番号	(革新技術名)

